

【安全な学校生活】

夏休みを利用して、東北方面を訪れました。昨年の避難訓練で話したことがあるので2・3年生は覚えているかもしれませんが、私には福島県で体育教師をしている友人がいます。この友人は体育の授業中に、かの東日本大震災に遭遇しました。突然の大きな揺れと、天井から落ちてくるものにパニックになる生徒を落ち着かせ、生徒を引率して避難所に移動し、すべての生徒を家庭に引き渡すまでの1週間の出来事を、のちに聞かせてもらいました。その友人を久しぶりに訪ねたあとで、宮城県に移動し震災遺構として残されている二つの小学校を見学してきました。

仙台市立荒浜小学校は、校舎の建て替えの際に地域の方のアドバイスで地面を2メートル上げて建設されたそうです。この2メートルのおかげで、すべての児童と教員は3階と屋上に避難して津波から逃れました。



一方、石巻市立大川小学校は、ご存じの方も多いと思いますが、避難する途中で津波に襲われ、多くの児童と教員が犠牲になりました。グラウンド横の斜面に津波到達地点の目印がありました。すぐそこに見えていて、子どもの足でも登れそうな斜面。あそこまで行っていれば・・・と思わずにいられませんでした。



二つの小学校でさまざまな資料を読み、当時のまま保存された校舎を見学して、私たち教員の仕事は、こういうことなのだと強く感じました。被災した多くの学校で、あのとき教員たちは必死で考え、迷い、最善だと判断して選択したことでしょう。それにもかかわらず、結局明暗を分けることになった二つの小学校を見て、胸が痛くなると同時に、責任の重さを痛感しました。

学校の危機は震災だけではなくありません。異常気象による災害も頻発しており、これからは台風シーズンになります。また、2学期が始まると同時に、体育大会の練習が始まります。残暑が厳しい中での練習は熱中症が心配です。それから、この夏に学校に不審者が侵入したというニュースもありました。ましてや、本校では校舎の改修工事が行われています。工事業者の方と安全対策について綿密に協議していますが、万が一にも事故のないようにしていかななくてはなりません。安全な学校生活を第一に、そのうえで感動と成長を実感できる2学期にしていきたいと思います。保護者、地域のみなさまに、どうぞご協力をお願いいたします。

校長 上代 婦美子

【工事の進行状態】

夏休みの間も、R6年4月の小中一貫校開校に向けて工事は毎日行われていました。9月1日現在、教室棟の校舎には足場が組まれ、防塵シートで覆われています。教室棟の工事は2月中頃の予定です。教室棟の工事が終わると特別室棟の工事（第2期工事）が始まります。学校全体の工事が完了するのはまだまだ先になりますね。体育館も屋根、壁の塗装に加え、体育館の床も新しく張り替えます。



中庭から見た校舎



体育館

【下足室がきれいにリニューアル！】



ドアの色は手前から「青・緑・赤」となっていてとってもカラフルになりました。中は新品の下足箱（黒色）が備え付けられていて、壁には河内木材の板が貼られています。河内木材のいい香りがします。

きれいな状態を維持できるように大切に使いましょう。